

図書館を活用した「あんしん健康ライフ」応援事業（館内標示作成の取組）

1. 目的

昨年度の「認知症本人ミーティング」でいただいた提案を基に、館内標示を見直すことで、認知症の方をはじめ、多様な来館者にとって利用しやすい図書館となるための環境整備を行い、図書館の活用促進を図る。

2. 内容

(1) 「みんなが安心して通える図書館に！館内標示を考えるワークショップ」

ア 日時 令和6年6月26日（水）午後2時から午後3時まで

イ 会場 鳥取県立図書館 2階 大研修室

ウ 参加人数 認知症の本人 7人、関係者 14人

エ 内容

令和5年度に当館で開催された「認知症本人ミーティング」でいただいた、「館内標示が床にあるとわかりやすい」「トイレの場所がわかりやすいとよい」という意見を基に、認知症の本人や関係者（家族、県関係課職員、関係機関職員）とわかりやすい館内標示について話し合った。具体的には、色や標示方法、種類（トイレ・エレベーター・中央カウンターのみとするか、各コーナーを含めるか）等について検討した。



【写真1】ワークショップの様子。標示案を見比べ、色を検討。 【写真2】標示案を床に置き、字の大きさを確認。

(2) 関係者団体等への意見聴取

ア 内容

より多くの方にとってわかりやすい標示とするため、現在の館内標示が見つらい来館者と想定される関係者団体への意見聴取を実施した。意見聴取を行う団体は、「鳥取県福祉のまちづくり 施設整備マニュアル」で標示に関して配慮が必要とされている方を取り上げ、県障がい福祉課に相談の上、選定した。また、関係者団体からのアドバイスを受け、児童図書室に来室した子どもたちへの聞き取りも行った。

イ ご協力いただいた関係者団体

鳥取県視覚障害者福祉協会、鳥取県見えにくい人を考える会、鳥取県身体障害者福祉協会、鳥取県聴覚障害者協会、NPO 法人鳥取県自閉症協会、鳥取県手をつなぐ育成会、鳥取県知的障害者福祉協会

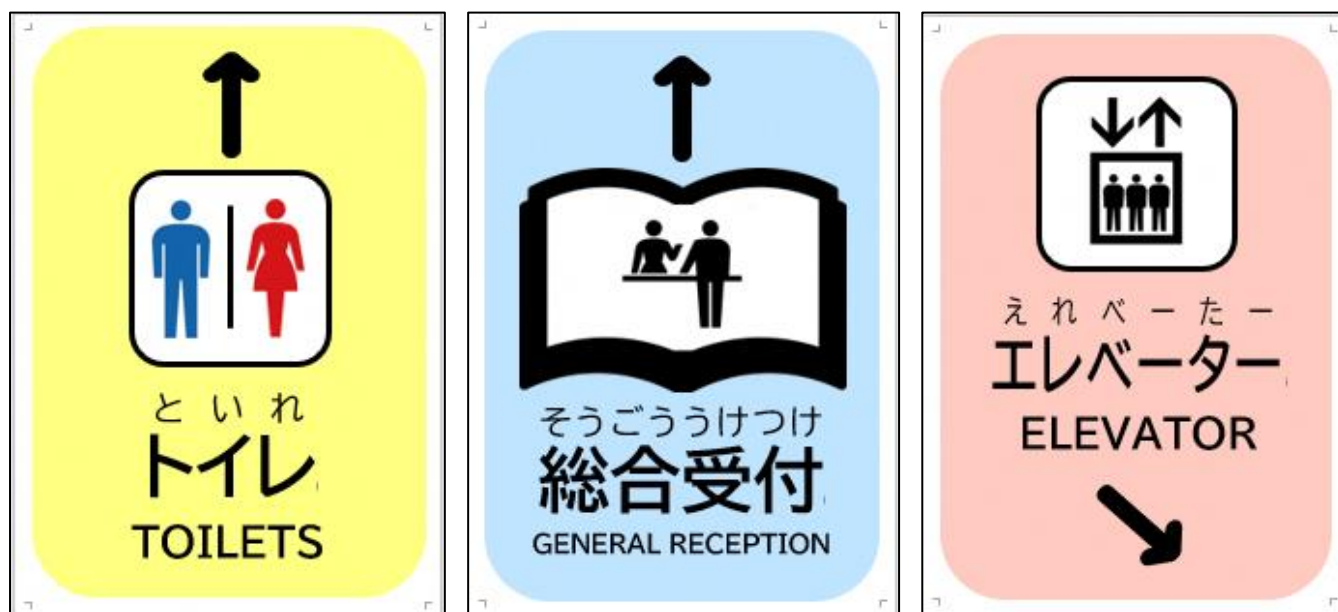
3. ワークショップ、意見聴取の結果を受けた館内標示案

(1) 概要

標示(トイレ、中央カウンター、エレベーター)を玄関、階段手前、トイレ手前、本棚の側面等、必要と思われる場所に点在させる。中央カウンターには常に職員がおり、案内所として利用できるため、標示案を作成する。なお、「中央カウンター」という名称は何をしたらいいのかという意見を複数いただいたため、表記を「総合受付」とする。

文字の大きさや配色等については、「鳥取県福祉のまちづくり 施設整備マニュアル」を参照し、ピクトグラムについては「案内用図記号(JIS Z8210)」を使用するなど、ユニバーサルデザインの標示となるよう配慮する。

(2) 色・レイアウト(例:玄関用)



(3) 設置イメージ

